

令和4年度 外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 5

千葉県立京葉工業高等学校 全日制の課程

機械科 電子工業科 設備システム科 建設科

1 選抜資料

| | |
|----------------------|---|
| (1) 調査書 | 中学校の校長から送付された調査書 |
| (2) 面接 | 受検者1名・評価者3名の個人面接 日本語（必要に応じて英語） 検査時間：1名20分 |
| (3) 作文 | 日本語の場合は600～800字以内、英語の場合は100～300語以内 受検者が、日本語又は英語を出願時に選択する 検査時間：50分 |
| (4) 外国人特別措置 適用申請書 | 実施要項〔様式7(1)又は(2)〕により、入国年月日及びその前後の教育歴 等を説明したもの |

2 評価項目及び評価規準

(1) 調査書〔175点満点〕

アの数値に、イ・ウを除き、エ～カについて加点(上限4.0点)したものを調査書の得点とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|------------|--|
| ア 教科の学習の記録 | 各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合、審議の対象とする。 |
| イ 出欠の記録 | 3年間で欠席が30日以上の場合、審議の対象とする。 |
| ウ 行動の記録 | ○が1つもない場合は、審議の対象とする。 |
| エ 特別活動の記録 | 学級活動、生徒会活動、学校行事等の活動において、優れた実績等については、10点を上限として加点する。 |
| オ 部活動の記録 | 部活動等の取組や実績については、15点を上限として加点する。 3カ年同一部活動又はクラブ継続者については、5点を加点する。 |
| カ 特記事項 | 取得資格等の実績については、10点を上限として加点する。 |
| キ 総合所見 | 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 |

(2) 面接

3名の評価者が、次の6つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

| 評価項目 | 評価基準 |
|-------------|---|
| ア 志望の動機 | ・志望の動機を明確に伝えている。 |
| イ 興味関心・学習意欲 | ・自分の進路や志望学科に関する興味関心・意欲がある。 ・将来の進路希望等について、具体的に回答している。 ・学習に対して「前向きな姿勢」が感じられる。 |
| ウ 特別活動・部活動 | ・特別活動・部活動への関心・意欲が感じられる。 |
| エ 安全意識 | ・「自分がけがをしない」、「周囲の者にけがをさせない」ための意識が感じられる。 |
| オ 自己表現・自己理解 | ・質問事項に対し、分かりやすく適切に回答しようとしている。 ・中学校時代に頑張ったこと等について明確に回答しようとしている。 |
| カ 身だしなみ・態度 | ・面接に臨む態度が適切である。 ・服装、頭髪、言動等がしっかりしている。 |

(3) 作文

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき評価し、特に問題がない場合はA、いずれか1つ問題がある場合にはB、2つ以上問題がある場合にはCとする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|--------|---|
| ア 内容 | 作文題を的確にとらえた文章になっている。 |
| イ 自己表現 | 意見・理由・説明が具体的で適切である。 |
| ウ 文字数 | 日本語の場合：600字以上800字以内で書かれている。 英語の場合：100語以上300語以内で書かれている。 |

(4) 外国人特別措置適用申請書

| 評価項目 | 評価基準 |
|------|-----------------|
| 記載内容 | 志願資格があることを確認する。 |

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校長から送付された調査書、外国人特別措置適用申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいしない。

工業科の実習等の実技科目では、安全・安心を確保するため、「安全意識」、「自己表現・自己理解」を重要な項目とする。

4 その他

過年度卒業者については、面接検査終了後、別途個人面談を行う。